

植物エッセイ

大平仁一*・大平ユリ*

フリティラリアとは？

1950年頃、私は畑で綿を作ることを考えて、飯山の種屋で1合の種を購入した。その中に、4つの球根が入っていた。何でもいいと思い植えた。芽が出てきて花が咲いた。それがこの「王冠ユリ」だった。見た事のない花でおどろいた。

畑の綿は50坪。一面に白く咲き、私は多くの人に飾りとして持って行くと、すぐ喜ばれた。お年寄りには、なつかしさに大変うれしく、昔の事を話してくれた。

聞くと、王冠ユリ（ヨウラクユリ *Fritillaria*）は中国原産だと教えられた。母ちゃんはおもしろい花だねと言い、じーと見ている。私もこの花に名札をつけて大切にしている。

美しいホワイトの花に魅せられて

White flowers are blooming the spring is on its way and the banquet flowers.

飯山の山へ時々出かける私には目的があった。花である。それも白や黄色が好きで、病の足を引きづっていく。そんな時、ある介護師が「大平さん、私、休みなのでいっしょに行っておあげよ」と言ってくれた。「天使の微笑み」のような人で、沙織と言っていた。

私には目的があった。車で山の杉や雑木の茂った林についた。なかなかその場所がなかった。少したつと、白い花らしきものが見えた。あった、あった。私の見つけた花、ナツエビネ (*Calanthe reflexa*)。沙織さんに写してお願いした。

この場所は大切に、毎年来て写真にとる。この頃は妻と沙織さんと私の三人の憩いの場所になっている。

秋山郷にシャクナゲが咲く

最近のニュースでオゾンホール拡大の報に頭をなやませる。そして温暖化と、私はこの地球の変化に自然の植物が少なくなる事をなやむ。

そんな時、秋山郷へ足を踏み入れてみた。これで7回目だ。五宝木の山田様にお茶をいただき、話しをし楽しんだ。7月なのに少し寒かった。昔切り出したブナを運んだトロコ跡の道をたずねる。下にはきれいな川の水が流れ、流れの中の石は割と大きく流れは強かった。

そんな時、目の前のひと際目立つピンクの花に目が行った。きれいだった。でも葉が小さかった。よく見ると「シャクナゲ」だった。その美しさに少し足が止まった。よく見ると「アズマシャクナゲ」でした。その近くに五葉松の大木があり、行く手をふさいでいる。歩きにくいですが、私はたまらなく好きだった。

今日は山田のおじいやおばあので餅をいただき、世話をし、北野の山道を通り帰る事にした。

猩々袴 (*Heloniopsis orientalis*)

私が山に教わったのは、ある歌からだった。それは「野に咲く花のように」「人に踏まれ」「悲しい時も」「雨の日も」。私にやさしい心と癒しを与えてくれる野の花にそって生きていきたい。

杉の林の中の小さな川。春の野草は私にやさしい心を与えた。ショウジョウバカマと言う彼女だった。葉の先端から子供を生み育てて、一人前になると切りはなす、世にも不思議な悲しい植物なのだ。この小川の両端に多くのショウジョウバカマ (*Heloniopsis orientalis*) が咲いて、赤白と私に微笑んでくれた。そんな事があり、妻と時々来て2人のデートの場所にしていた。妻もこんな私にいつも喜んでついて来てくれた。

病になった今日、それでも杖をつく私に山道へ行きませんかときそってくれた。そんな妻が愛らしい今日です。

行者ニンニクのラーメンと桜草

妻と奥山の老人に会いに行き、桜草の群生を見せてもらった。すばらしい自然に盛者必衰を考えさせられた。でも今の世は人間が美しい心で大切にしないと後世に伝わらないのだと気づいた。その教えを伝える事だとつくづく考えさせられた。

* 大平仁一・大平ユリ 〒389-2322 飯山市瑞穂1166-9

お腹も空いてきて、おばさんが美味しいラーメン食べに行こうと言うので、30分かけて行ってみた。一番驚いたのは、ラーメンの中に行者ニンニクが手づかみで入っていた。その汁の美味しさにすぐく気を良くした。妻は行者ニンニクが山で栽培されていると教えられた。

カタバミは赤かった

今は亡きすばらしい友人とクサソテツ (*Matteuccia struthiopteris* 地元でコゴミという) を山へ取りに行った。この地元では人々は誰でも山へ行く。そんな時に2人で発見したのがこのカタバミであった。花はピンク色で、2人で心して「おむすび」を頬張り、この花に声かけていた。

時々「うぐいす」が近くで私達にうれいを与えてくれた。因にここは5町歩ほどの田んぼが休耕になっていた。

白馬登山は私達の念願

山は人の心を豊かにし、健康の美しさを保ちますね。妻も私についてきてくれて、たくさんの花や実が好きだった。

白馬山へは樽池より登り三国峠から白馬山頂上、そこは私達の世界だった。空はこの世ではみれない色、空・地・土・花・幸せ・・・と思っていると、近くにキヌガサソウ (*Paris japonica Franch*) が少し残っていた。小さい白い中心の花がいやに妻に見え美しかった。もう少し早ければ群生した花がみれたのに・・・と思いよせた。日本海の富山湾も見え、たしかに三国峠が下に見えた。

そんな時、あたりのハイマツ (*Pinus pumila* 這松) がいやに黒く見えた。この植物は下界には無いが、キヌガサ草は柴村の山にもあり、私は空気のきれいなところに咲くこの花がうらやましかった。母ちゃんが行った山、北信の三カ山に咲くのを見ているのに、この山にてうれしかった。母ちゃんも今になって、父ちゃん山のように美しい人間でいようね、お金なくても！！と元気づけてくれた。

一泊して下山する。そして、お風呂に入り下界より北アルプスを見ると又すばらしい。幸せを感じる2日間であった。

シラネアオイは北信の花

静かな山の好きな私は、時々リュックを背に奥山へ登る。栃の木や「ウリハダカエデ」にかこまれた沢を歩くのが好き。ここは私の「ウド取る山菜の場所」で友とくる楽しい場所である。沢の水辺に時には「サンショウ魚」の子供がいる。北信濃の山にはあちこちにある「シラネアオイ (*Glauclidium palmatum*)」が顔を見せてくれる。私はもう10年も前から知っていた。でも今日は花の白いシラネアオイを山の中でみつけておどろいた。そんなわけで、ここに載せてみた。

昔はシラネアオイを種で育てていた事もあり、この花は私の18番であり、飯山ではシラネアオイの大平と言われてははずかしい。サンショウ魚も増えてうれしかった。時にイワカガミの白いものもある。

木曾の友人から送られた写真と苗

それはすばらしい「オオヤマレンゲ (*Magnolia sieboldii*)」の写真でした。初めて見る。すばらしかった。北信のレンゲよりも色合いが幻の色の白に見え、私に眩しく見えた。北信の花はただの白であるが、木曾の花はこの世のものと思われない。私に葉なの心の幸せをくれた。それはそれは美しさのすばらしに恋をおぼえた。寒くなった11月にこの写真を見せてもらい、暖かさを感じた私でした。こんな花が長野県にあるのは信州の宝です。

木曾では「天女花」と言い、別名皇后さまの大好きな花として「ミチコレンゲ」としても有名だと聞いている。「オオヤマレンゲ」の花香る里としての町づくりを夢見ているそうで、町のすばらしい姿が見えます。この町のみなさんの結果におどろいています。

苗は11月10日に母ちゃんが植えてくれた。2～3年後の咲く花を夢みて、2人の愛で大きく大きく育てたいと思っています。送ってくれた木曾の代表横井様に礼手紙を出した。小さい苗だけれど、種から育てたそうでした。ぜひ会員にも見せたいものです。この写真をぜひ見せたい。

日本は帰化植物の国になるのか

1990年に私達夫婦は小学生の孫をつれて広島の前爆資料館見学、宮島、西日光・耕山寺の旅に泊まりで行く。そこに有名な画家平山郁夫の生家があった。私達は画家の事は知らなかった。それを知った

のは孫の「さき」だった。古い民家だった。一度大火にあった事も「さき」から知った。海の幸を食べる時2人の孫は「おれ達幸せだな」と言っていた。

そんな旅は全行程電車で、私は外に目をやっていた。いつも目にする黄色の花、いつまでも目にうつり走馬灯のように見えた。それは「セイタカアワダチソウ (*Solidago altissima*)」だった。

それから早5年、今は信州で妻の世話になり車いすの生活に病院や宅老所通いになり、たくさんの介

護師さんにお世話になっている。少し悲しい人間ですが、時にやさしい女に声をかけられ、うれしい日々をすごしています。

けれど、この飯山にはあたりかまわず「セイタカアワダチソウ」が増えていて悲しいです。それなのに民家に植えている人もいて悲しさが増します。それなら「アキノキリンソウ (*Solidago virgaurea*)」をたくさん増やしてほしい。今では線路に堤防にあのアワダチがあり、私のドギモをぬいた。日本にはあのやさしいかわい植物が似合うと思います。



写真1 王冠ユリ



写真2 ナツエビネ (*Calanthe reflexa*)



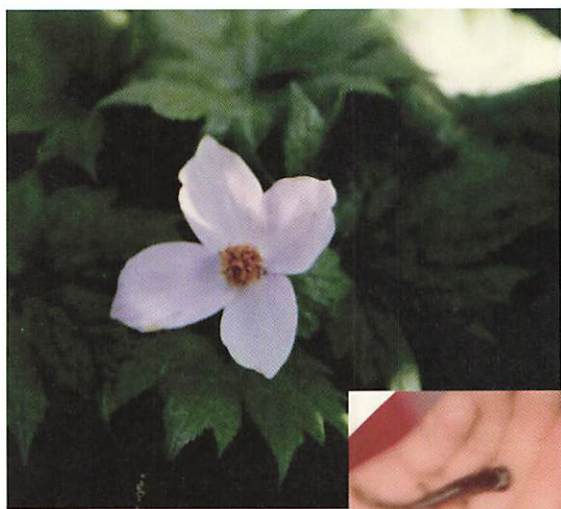
写真3 アズマシャクナゲ *Rhododendron degronianum*



写真4 ショウジョウバカマ (*Heloniopsis orientalis*)

写真5 桜草 (*Primula sieboldii*)写真6 ベニバナミヤマカタバミ
(*Oxalis griffithii*)

写真7 9月29日白馬ルート 2人で登山

写真8 シラネアオイ (白) *Glaucidium palmatum*
サンショウ魚写真9 大山蓮華 (*Magnolia sieboldii*)